

フェーン・異常高温緊急情報(第2号)

令和5年8月14日
新潟県農林水産部

異常高温が続いており、さらに、8月15日から16日にかけて、台風第7号による異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。

イネを高温障害から守るため、速やかにかん水し、地温の上昇を抑えましょう。

【気象の見込み】

- ◎ 新潟地方気象台が8月14日11時に発表した「新潟県の天気予報（6日先まで）」では、14～16日の最高気温は35～38℃、最低気温は27℃と予想されています。
- ◎ 台風第7号は、15日から16日にかけて新潟県に接近する見込みです。地域によっては、フェーン現象による異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。

【当面の管理対策】

- ◎ コシヒカリは、出穂後の高温に対する感受性が最も高い時期、新之助は出穂盛期となっており、最も水を必要とする時期を迎えています。
- ◎ 土壌表面に水がない状態でフェーン等の異常高温に遭遇すると品質が大きく低下します。高温障害による被害を軽減するため、速やかにかん水し、地温の上昇を抑えましょう。
- ◎ 用水の厳しい供給状況に配慮して、地域全体に用水が行き渡るよう、より一層こまめに水回りを行い、水が行き渡ったら速やかに水口を止めてください。
- ◎ 早生品種は登熟初期に高温に遭遇しており、胴割粒の発生リスクが高い状態です。また、異常高温が継続していることから、収穫適期がかなり早まる見込みです。刈遅れによる品質低下を防ぐため、地域の技術情報（積算気温による収穫期のめやす）を参考に、適期収穫に努めてください。

農業用水は限りある資源です。地域全体で大切に使いましょう。